

研究会・地域部会の報告書

提出者： 中井謙太 / 提出日： 2021年7月15日

研究会・地域部会名	第三回幹細胞情報学研究イニシアチブ研究会
代表者(所属機関名)	藤渕 航 (京都大学 iPS 細胞研究所) 中井 謙太 (東京大学医科学研究所)
タイトル(イベント名)	単一細胞空間生物学の新展開
日時	2021年7月12日 13時から
場所	オンライン開催
共催団体	なし
後援団体	(協賛) 京都大学 IPS 細胞研究所シングルセル解析支援室
参加人数	194名 (主催者・講演者含む)
目的：	近年、再生医療や細胞治療等の幹細胞を用いた細胞実験技術の発展に伴い、世界中で幹細胞情報学研究が注目されています。本研究会は、関連分野の情報・実験研究者間の情報交換、相互協力を促進し、幹細胞や細胞に関する情報学的研究の推進を図るために2019年に設立されました。昨年度はコロナ禍のために集会を開きませんでした。通常は年1、2回のペースで研究集会を開催しています。
概要：	第3回にあたる今回は <b>Methods of the Year 2020</b> にも選出されたという単一細胞空間生物学の新展開をとりあげました。海外在住者を含む、4名の若手の先生方に、最先端の成果をご講演いただきました。なお、開催は <b>zoom</b> による <b>webinar</b> 形式で行いました。
成果および感想：	事前申し込みの段階では <b>250名</b> (うち会員は <b>56名</b> )、当日の <b>webinar</b> 視聴者は <b>188名</b> (同時最大ビューは <b>159名</b> ) (いずれもパネリストや世話人は含まず) と、多数の参加がありました。それだけではなく、当日は、各講演に対して、チャット機能などを介して多数の質問がでて、参加者のこの分野への関心の高さがうかがえました。大変意義のある催しになったと思います。